

# 津田塾大学 様

講義風景をオンデマンドデータ化。  
受講生がいつでも復習できる環境に。

講義を録画し、復習用のオンデマンドデータとして配信。その編集作業にかかる手間と時間を大きく削減。運用はそのまま、今までになく使い勝手の良いコンテンツ作成・配信が実現できた。



写真はイメージです

## 01 課題

- オンデマンドデータに変換、公開している。しかし録画した講義のデータ化から配信までには多くの手間と時間がかかっていた。

## 02 用途

- V-CUBE セミナーを活用した講義を録画し、復習用のオンデマンドデータとして配信。

## 03 選定要件

- サーバーに録画データを置くだけで受講生に映像を配信できること。  
- アクセスするのに特別な制約が無いこと。

## 04 評価

- 講義の録画データの編集が不要になり、特別なネットワーク構成が一切いらないので、導入の準備期間を短縮。

### お客様プロフィール

社名 津田塾大学  
URL <http://www.tsuda.ac.jp/>  
所在地 千駄ヶ谷キャンパス  
〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24  
小平キャンパス  
〒187-8577東京都小平市津田町2-1-1

津田塾大学は、1900年(明治33年)、津田梅子により日本初の女子高等教育機関の一つである「女子英学塾」として誕生。以来、「津田英学塾」「津田塾専門学校」と変遷を重ねながら1948年(昭和23年)に学制改革と同時に「津田塾大学」へと発展した。

### この事例で利用されたサービス

詳しくは Web へ 詳細や多数の事例を掲載しております  
<http://jp.vcube.com/case/>



10,000拠点に、同時配信。  
双方向性が高いから臨場感あるセミナーを実現します。

国内最大規模の10,000拠点まで  
同時配信可能な資料同期型セミナー。

## 導入背景



津田塾大学では一部の講義を録画し、受講生の復習用の資料としてオンデマンドデータに変換、公開している。しかし録画した講義のデータ化から配信までには多くの手間と時間がかかっていた。「1時間半の講義をデータ化するには、単純に講義の倍以上の時間が必要で、資料と映像の付き合わせなど、細かい手間なども含めると映像配信までにざっと半日以上かかっていました。この時間と手間を減らすことが、復習用のデータ作成の課題でした。」と視聴覚センターの石井氏。

津田塾大学では、講義の録画にはWebセミナーサービス「V-CUBE セミナー」を利用することとなり、サーバーごと「nice to meet you」を導入。学内のネットワークからアクセスできるようにした。

「V-CUBE セミナーは、講師の映像と音声、講義に使うプレゼンテーション資料などを一緒に録画できるので、導入以前には半日以上かかっていた録画後のデータ編集がいなくなりました。しかも、講義を撮影した後は、サーバーに録画データを置くだけで受講生に映像を配信できる。この簡単さが決め手のひとつでした。

それから、アクセスするのに特別な制約が無い、という点も大きな魅力です。サーバー側は、通常のWebサイトにアクセスするためのポート(80番)があれば大丈夫。特別なネットワーク構成が一切いらないので、導入の準備期間も短縮できました。」



写真はイメージです

## 導入効果

講義の録画データの編集が不要になったことはもちろん、講師や学生が使用するパソコンにも専用ソフトのインストールがいらない。学生はいつも使っているブラウザでアクセスできるので、受講生が変わっても、設定の対応に追われることがない。



## 今後の要望

今後は活用シーンの幅を広げ、オンデマンドデータの配信だけでなく、遠隔地や教室で授業を受けられない場合への対応にV-CUBE セミナーを利用することも、視野に入っている。

V-CUBE セミナーにはライブ配信機能も備わっているので、今後はその機能を利用して、ネット中継で実施する講義も検討したいですね。」と石井氏。



セミナー参加者の「本音」が「見える」

## V-CUBE セミナー

10,000拠点に、同時配信。  
双方向性が高いから臨場感あるセミナーを実現します。



国内最大規模の10,000拠点まで  
同時配信可能な資料同期型セミナー。

